

結成20年！ 職場闘争を軸に、組織拡大を実現しよう！

年頭アピール

自民党政権・小泉構造改革、新自由主義に「NO！」を突きつけ、実現した政権交代から1年半。しかし、現実はどうだろうか。政治の混迷、国家財政の破綻、平和の危機、雇用不安と貧困の増大、労働者の生き活きとした未来が見えてこない。まさに極寒の中で新しい年を迎えることとなった。

今年、JR東海労は結成20年を迎える。私たちは、「朝日の前の雪だるま」「1年でぶっ潰す」と豪語した葛西敬之会長の思惑を打ち砕き、今こうして組織の前進を勝ち取り、職場にしっかり根を下ろし闘っている。私たちは、この20年間闘い抜いてきた組織力を更に強固なものとし、先行きの見えないこの社会を変革し、否定的な現実を打ち破るために断固奮闘する。職場で汗する全ての労働者の未来を切り開くために、より一層組織の質を高め、その質に共感する全ての仲間たちの結集を呼びかける。結成20周年を組織拡大の実現で迎えよう。

去年は、組織の総力を挙げて参議院選挙闘争を闘い抜き、私たちの仲間、田城郁を国政の場に送り出す闘いに勝利することが出来た。しかし、一方において蒲郡駅事件では、刑事・民事裁判共に上告棄却という不当極まりない決定が下され、本当に悔しい思いを噛みしめることとなった。更に、暮れも押し迫った12月9日、信じられない訃報が届いた。元JR総連特別顧問・松崎明さんが急逝された。松崎明さんは、私たちが、1991年8月JR東海労を結成して以降、常に私たちの想いに立ち、共に闘い励まし勇気づけてくれた素晴らしい指導者であった。驚きと悔しさ、そして深い悲しみが込み上げてくる。ご冥福をお祈りすると共に、私たち一人ひとりが松崎明さんの遺志を受け継ぎ、組織一丸となって奮闘することを決意する。権力者、そして、それを下支えする輩による組織壊滅攻撃・大弾圧は、さらに激化してくることは明らかだ。しかし、私たちは、田城郁参議院議員や連帯する全ての仲間たちとスクラムを組み一切の弾圧を跳ね返していく。

昨年12月15日、リニア中央新幹線に対する「中間とりまとめ」が公表された。JR東海・葛西敬之会長の思惑通りに進んでいるかのように見てとれる。しかし、この間築き上げてきた多くの良識ある学者・知識人、地域住民・市民団体との連帯は着実に前進している。疑問の声も広がっている。私たちは、創りだしてきた連帯の輪を更に強化し、職場から地域から闘いを推し進める。リニア中央新幹線の問題点を社会的に明らかにし疑問の声を一層大きなものとしていく。

国鉄改革から25年を前に、JR三島・貨物会社の自立・完全民営化に向けた動きが急ピッチに進んでいる。今年国鉄改革から24年目を迎える年である。正念場の年となることは間違いない。自立・完全民営化は、経営の問題であると同時に、JR労働運動の再編＝JR総連の組織破壊攻撃でもある。JR総連に結集する全ての仲間たちの団結力で跳ね返していこう。

職場に目を向ければ、強権的な労務管理が未だ横行している。多くの若手社員は職場に幻滅を感じている。希望を持って生き活きと働く姿が見えない。私たちが先頭に立って声を上げ、職場の理不尽と闘おう。職場で発生する諸問題を解決するために、職場から闘いを構築しよう。

私たちの闘いは、労働組合の当たり前の闘いであり、正義の闘いである。全ての闘いを組織拡大に集約しよう！結成20周年を組織拡大という成果で迎えようではないか！労働者の未来は、私たちJR東海労が築き上げる！

以上、アピールする。

2011年1月16日
JR東海労働組合